

## 秋田県解体工事業協会との合同訓練を実施しました。

令和5年10月30日（月）に解体予定である旧川上公民館を使用して、秋田県解体工事業協会の株式会社「現代」様と大規模災害時における救助活動について訓練を行いました。地震発生を想定とし、がれきに埋もれている車両からの救出、重機による進入口作成、2階からの救出訓練を行いました。



### 【想定①】

「地震により倒壊してきた建物に走行中の車両が埋まってしまい、人が閉じ込められているとの通報。車両内の人数は不明。呼びかけるとかすかに男性の音がする。」



小隊で活動方針を共有している様子



重機によりがれきを移動している様子



救助資器材を使用してドアを開放し、要救助者を救出する様子

【想定②】

「地震により一部倒壊した建物に逃げ遅れた男性がいるとのこと。要救助者は2階にいるとの情報があるが、呼びかけには応じない。他に逃げ遅れはいないとのことだが、確定ではない。建物は解体工事中で、要救助者及び関係者も解体工事作業中。現場に重機はあるとのこと。」



建物の壁へマーキングを行い、ドリルやエンジンカッターなどを使用してサーチングホール※1を作成します。

※1サーチングホールとは、内部状況及び要救助者が開口部付近にいないことを確認するために小さい穴を開けることをいいます。



サーチングホール作成の様子



サーチングホールへ重機の先端を差し込み、  
隊員が進入するための進入口を作成します。



重機の先端で2階へ担架を吊り上げる様子



要救助者を担架へ収容後、重機の先端を支点に地上へ降ろしている様子

今回の大規模災害における救助訓練では、重機を要請して迅速かつ安全に救出する方法を確認出来ました。有事の際は、迅速に救出できるよう今後も多種多様な想定で訓練を行い、知識、技術の習得に努めたいと思います。